

命奪う戦争しないで

宗教者ら軍拡反対訴え

東京・渋谷

岸田文雄政権の軍事費大幅増に反対する宗教者が11日、東京・渋谷駅ハチ公前広場で「政府は国民に戦争を強制してはならない」と横断幕を掲げ、通行人らに武力で平和はつくれないと訴えました。平和をつくり出す宗教者ネットなど4団

体呼びかけ、20人が参加しました。

カトリック信徒の渡辺多嘉子さん(77)は「戦争はどこか遠いところのことと思っていませんか」と通行人らに問いかけたうえで、「しかし日本は戦争の準備をしています。どこの国もやっているといっって、軍需産業をもうけさせるためにお金

「武力で平和はつくれない」と訴えた宗教者の街頭アピール11日、東京都渋谷区



一人ひとりが大切だから立っています。あなたたち一人ずつが、誰かにとっても大事な人なのです。そのことをきちんとわかってほしい。戦争で人が死ねば、将来にわたって家族がいらない人をつくることがもなる」と話しました。

行動中、通りがかった青年が飛び入り参加でマイクを握り「戦争反対」と訴える場面や、高校生が手を振って声援を送る場面もありました。

を使っていきます」と強調。「戦争は嫌だ、行きたくないと思ったら、戦争の準備はしないと声をあげてほしい」と語りました。

「渋谷駅前にいる若者のみなさん。なぜ私たちがここに立っているのでしょうか」と切り出したのはカトリック信徒の田口佐智子さん(70)。「あなたたち